

平成29年2月21日

平成29年度 自動走行実証推進事業への応募申請書

	市町村名	豊根村
連絡先	部署名	商工観光課
	担当者役職・氏名	主事・山本 めい
	電話番号	0536-85-1311
	FAX番号	0536-85-5110
	メールアドレス	syoukan@vill.toyone.lg.jp

○ 本事業への応募理由

本事業への応募理由、狙い等について、自動走行システムへの期待やそれを活用することにより解決すべき行政課題を含めて記載してください。併せて、実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等も記載してください（今年度実施した地域におかれては、その点も踏まえて記載してください）。

テーマ：山間部における高齢者の移動手段の確保

(1) 実証地域（ルート）において、自動走行システムを活用することにより、解決すべき行政課題（高齢者対策、交通不便地対策、観光振興対策等）が存在すること。

当村の富山地区は人口88人と山間の集落であり高齢化が著しく進んでいる地域である。現在、主要駅である JR 飯田線大嵐駅から地区の各バス停までは、「おでかけ北設」富山線が運行中であるが、運行状況が平日の限られた時間のみである。豊根地区の4路線についても同様である。また、村全体として高齢化・人口減少が進む中で持続できる住民の移動手段確保に向け、今回の自動走行運転の実証により移動が困難な高齢者対策、交通不便地域解消を目的とし応募するものであります。

(2) 実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等が明確なこと（市町村のまちづくり計画等への位置付けや、市町村や地域の交通事業者等との関係者が連携し施策を具体化する体制の構築が見込まれることなど）。

現在、北設楽郡内において3町村連携した「おでかけ北設」バスの運行を実施している。しかしながら、乗客は通園、通学、通院が多く日中の便は乗車率が低く、運行には多額の経費を要しているところでもあります。現在、村では住民による有償ボランティアタクシー「とよねがんばらマイカー」を運行し、高齢者、障害者の買い物、通院の際の移動手段の補完をしているが、ドライバーの高齢化が生じている。自動走行が可能となれば、バス便数の増加が図られより一層北設楽郡内の公共交通の充実化が見込まれ、観光振興にも寄与するものと考えます。

(スペースは適宜広げて記載してください)

○ 実証実験実施場所、ルートの詳細

以下の点を記載及び地図に明示してください。路線内にある信号交差点、起点・終点場所、主要な施設（駅、病院、公共施設等）を示してください。

- 1 ルート（起点→終点）
JR 大嵐駅（起終点）
- 2 ルート（地図）



3 地理条件（既存のバスルートの有無、運行本数や地域の状況等を記入）

- ・既存バスルート有無について

既存バスルート有り

- ・運行本数について

別紙参照

- ・地域の状況について

富山地区は1月末現在で人口88人の過疎地域であり、集落が点在している。

主要な公共交通機関は村営バスとJR飯田線大嵐駅からの電気に頼っている。

4 道路条件（募集要項も参照のこと）

項目名	内容
路線距離	片道約5.7km
車線数	1車線（白線がかすれている部分あり）
道路構造	ガードレール有
道路種別	県道426号線・県道1号線（愛知県） 県道287号線（静岡県）
トンネル、踏切	無し
交通量	少
交差点	有り
起点・終点	起点・終点：大嵐駅 ※漆島までの各バス停停車
その他特記事項	押しボタン式信号機1基あり

- 5 写真（次のものを貼り付けてください。Google ストリートビューなどでも可。容量はワードファイル全体で5MB以下としてください。）

(1) 道路の様子 (主要地点数カ所)



撮影日: 10月 2013 © 2017 Google

(2) 起点、終点場所 (駅、公共施設等)
JR 大嵐駅



撮影日: 6月 2012 © 2017 Google

漆島バス停前



6 高精度3Dマップの有無

有（平成29年度整備予定の場合は、時期を明記してください。また、「有」の場合は、そのルートも記載してください。）

無

7 貴自治体における自動走行に関連した独自の取組（実績、平成29年度の予定・予算措置状況等）

独自の取り組みは無い

8 その他参考資料（ある場合は添付）